



「島鉄廃止でバスが増便になった最初のころは、バスの後ろに行列ができることが、時々ありましたが、バスペイの整備が進み、行列はあまり見かけなくなりましたね」



三瀬タクシー 石橋正共さん

市がどう変わったか
決算 ③
から
見よう

県工事として行われた布津町の2カ所のバスペイ整備（緑り越し事業として、現在も6カ所を整備中）に併せ、市でもバスシエーター（上屋）を整備。ドライバーにとって走りやすい道路が期待されるだけでなく、バスの利用者にとっても快適な環境を提供しています。

バス停の整備（布津支所前ほか）
1,030万円

では、「南島原家」はどんな家庭？

自分の家計簿を見ただけでは、良い悪いの判断はできませんが、家族構成などが似ている家庭（類似団体）と大まかに比較すると、歳入では親・兄弟からの援助（依存財源）が特に大きく、歳出では預金（積立金、借金の返済（公債費））それに家の改築費用（投資的経費）の割合が高くなっており、着実に借金を返済しながらも、必要な事業は実施しているといえます。

市がどう変わったか
決算 ①
から
見よう



国道まで続く陣場線

今年5月に開通した陣場線（全線2.169キロメートル）。南有馬町の浦田・大江方面から、広域農道や雲仙・小浜方面へのアクセスが格段によくなりました。道路沿線にある南有馬運動公園には、市内外から多くの人が訪れますが、開通により、よりわかりやすく、訪れやすくなりました。また、原城文化センターや西望公園に大型バスで行きやすくなったことも特徴です。訪れる観光客も徐々に増えつつあり、今後は交流人口の増が期待されます。

※20年度事業費。総事業費は14億2,337万円

市がどう変わったか
決算 ②
から
見よう

旧加津佐庁舎は市民の憩いの広場として生まれ変わりました



近隣にお住まいの本多 勝さん

憩いの広場整備 3,138万円
役場がなくなると、寂しい気持ちも正直ありますが、商店街の中に緑の多い公園ができ、すいぶんイメージが変わったと思います。近くの保育園がよく散歩で訪れたりしています。特にトイレは立地の良さもあって、よく利用されているようです。全体的に、利用者はだんだん増えてきているようです。今後市民の交流の場になっていくことを期待しています。

歳出のうち投資的経費は13%

義務的経費に対して、道路や公共施設などの建設費や自然災害の復旧に要する費用のことを**投資的経費**といいます。

これは、家計に例えると自宅の増改築や車の購入経費に相当するもので、安心して快適な生活を営むのに必要な経費であり、取得した後も継続して使用できる財産となる点が特徴です。

ほかの経費の主な特徴は次のとおりです。
●消費的経費：各種事業や団体への補助金・負担金や公共施設の維持補修に要する経費です、家計に例えると自治会費やスポーツサークルの会費など、主に後年度に残らない経費であるといえます。

●その他の経費：国民健康保険・老人保健や水道事業などの特別会計に対する繰出金があります。これは、生計を別にして子どもへの仕送りにあたります。さらにそれ以外にも基金への積み立てがありますが、これは家庭でいう預金に相当します。

以上、全体的に見ると自分で稼いだ給料（自主財源）では、必要な生活費（義務的経費）をまかないきれず、親・兄弟から援助（依存財源）してもらいながら生活している状況といえます。南島原市が自由に使うことのできるお金は、「もともと非常に少ない」ことがわかりかかっています。

こうした限られたお金（＝予算）の中から、さまざまな事業は行われているのです。

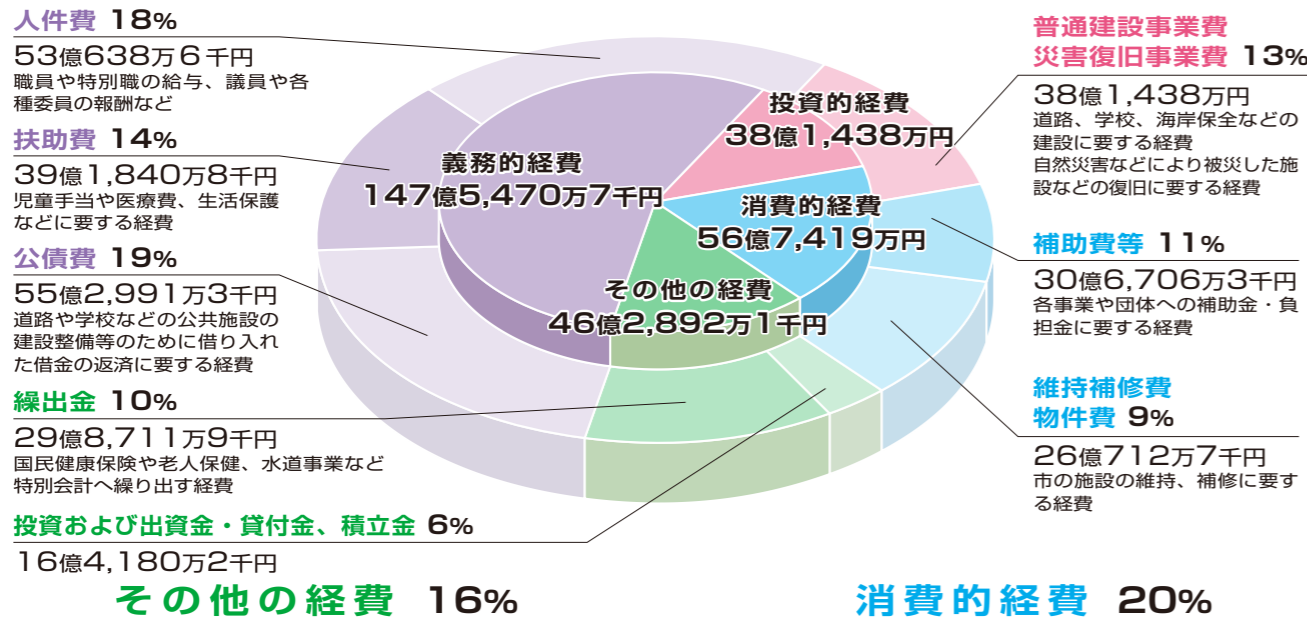
市の支出総額 **289億7,219万8千円**

義務的経費 51%

歳出のうち支出が義務付けられ、任意に節減できない経費

投資的経費 13%

道路、学校、海岸保全などの建設、災害復旧に要する経費



南島原市の平成20年度の決算について

市の収入総額 **295億5,803万3千円**

依存財源 81%

地方交付税や県補助金など、国や県の意思により、定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

自主財源 19%

市税や施設使用料、住民票発行手数料など、市が自主的に得る収入

